

# 平成 31 年度 事業計画

社会福祉法人しらゆり会

設立認可 : 平成 17 年 2 月 25 日

所在地 : 豊中市中桜塚 2 丁目 9 番 24 号

代表者 : 理事長 武内慎吾

## 法人概要

### 【法人の沿革】

平成 17 年 2 月	「社会福祉法人しらゆり会」創設	理事長	吉田純彦
平成 17 年 4 月	「さくらづか保育園」開園（定員 70 名）	園長	豊島朱美
平成 19 年 4 月	「のばたけ保育園」開園（定員 140 名）	園長	吉田純彦
	「さくらづか保育園」施設長変更	園長	土井文子
平成 23 年 4 月	「さくらづか保育園」定員 90 名に変更		
	「のばたけ保育園」定員 160 名に変更		
平成 25 年 4 月	「さくらづか保育園」施設長変更	園長	村上美香
平成 27 年 9 月	「のばたけマミー保育園」開園（定員 20 名）	園長	奥瀬佳代子
平成 29 年 6 月	「社会福祉法人しらゆり会」代表者変更	理事長	浅尾利機
平成 30 年 4 月	「さくらづか保育園」定員 120 名に変更		
平成 30 年 7 月	「社会福祉法人しらゆり会」代表者変更	理事長	武内慎吾

### 【保育の方針】

保育理念：「こどもはみんな宝物」

「こども達の最善の利益の尊重」

「こども達の育ちを支え、保護者の子育てを支える」

保育目標：「心身ともに健やかで、仲間を大切にする生き生きとしたこどもの育成」

- しなやかな身体と心を育む
- 仲間の中で自己主張でき、自分のことだけでなく相手のことも考え、認め合い、豊かな関わりを持つこどもを育てる
- 自分は大切な存在であると、自信をもって行動するこどもを育てる
- 自分で考え行動し、達成感・満足感を持てるこどもを育てる

### 職員心得

- 私たちはこども第一で仕事をします
- 保育士は、こどもの模範である事を常に自覚し、常識と良識に基づいて行動します
- 職務上知りえた個人情報の秘密を守ります
- 保育士として、常にその専門性の向上に努めます
- 保護者との信頼関係の構築に努めます
- 常に自己の責任の下に行動し、報告・連絡・相談を怠りません
- 他の職員との間で、お互いに良好な関係を保つ努力をします

【施設の概要】

さくらづか保育園 園長：村上 美香

所在地：〒561-0881 豊中市中桜塚2丁目9番24号

連絡先：TEL/06-6843-5868 FAX/06-6858-8088

E-mail/sakura5868@sakuraduka.ed.jp

のばたけ保育園 園長：吉田 純彦

所在地：〒560-0053 豊中市向丘3丁目2番1号

連絡先：TEL/06-6848-4560 FAX/06-6848-4426

E-mail/nobatake1@road.ocn.ne.jp

のばたけマミー保育園 園長：奥瀬 佳代子

所在地：〒560-0002 豊中市緑丘4丁目35番19号

連絡先：TEL/06-6853-3533 FAX/06-6151-5455

E-mail/nobatake.mami@clock.ocn.ne.jp



施設名		さくらづか 保育園	のぼたけ 保育園	のぼたけマミー 保育園
定員 (弾力化実数)	0歳	9 (15)	15 (15)	6 (6)
	1歳	20 (24)	25 (25)	7 (8)
	2歳	22 (24)	30 (36)	7 (7)
	3歳	23 (26)	30 (30)	—
	4歳	23 (26)	30 (30)	—
	5歳	23 (27)	30 (48)	—
	合計	120 (142) 名	160 (184) 名	20 (21) 名
職員数 (内非常勤)	園長	1	1	1
	副園長	—	1	—
	保育士	29 (10)	36 (8)	9 (1)
	保育補助	2 (2)	1 (1)	—
	看護師	2 (1)	1	1
	調理員	5 (3)	5	2
	用務・警備員等	2 (2)	3 (3)	—
	事務員	2 (1)	1 (1)	—
嘱託医	内科	1	1	1
	歯科	1	1	1
	眼科	1	1	—
	耳鼻咽喉科	1	1	—
第三者委員		岡本 清治	安芸 雅美	
		松 公造	平川 郁子	
敷地	全体	1665.60 m <sup>2</sup>	4594.34 m <sup>2</sup>	—
	園庭	370.19 m <sup>2</sup>	864.34 m <sup>2</sup>	—
建物	構造	鉄骨・木造平屋建 ／木造2階建	鉄筋コンクリート造2階 建／木造平屋建	賃貸 (株)千里ハイツ
	延床面積	916.78 m <sup>2</sup>	1328.98 m <sup>2</sup>	130.25 m <sup>2</sup>

## 法 人 計 画

平成 30 年度より役員・評議員の体制が一新され、法人としての機能の強化体制やガバナンスの強化体制が確立されてきた。平成 31 年度も引き続き刷新すべき箇所は刷新し、残すべきところは残す改革を図っていく。

現状保育園として運営しているが、昨今の児童福祉業界の動きから、さくらづか保育園およびのぼたけ保育園は、こども園への移行を目指して、今年度より具体的に動き出していく方向性で運営を進める。

地域貢献に関しては、園庭開放や地域住民との交流会を通して、地域と施設の密着した関係性を築いていくほか、大阪しあわせネットワーク事業を活用して生活困窮者に対する相談支援・経済的援助を行っていく。

## 各施設計画

### 【さくらづか保育園】

#### 1. 本年度重点的に取り組む目標・計画

- 主任・副主任・乳幼児リーダーを中心に話しを重ね、職員の意見を多く取り入れたことで、当園の運営がスムーズに取り組めるようになってきた。今後はクラスリーダーや各リーダーの役割を構築し、意識向上により園全体の質の向上に努める。
- 給食費が高騰しているため、食材や発注先の見直しをして安心安全な給食を提供する。
- 職員の事務作業の時間を確保し、残業を軽減していく。

#### 2. 目標・計画の具体的な項目と取り組み方法

項目	取組方法
保育内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 育児担当制について職員間で意見や保育観を語る中で共通理解をし、愛着関係の構築や物的環境について学びを深め、より安心して豊かな生活が送れるようにする。幼児期から気持ちカードを通し友だちや保育士に発表したり聞いたりする中で、“愛されている存在であるという自己肯定感”“友だちの気持ちを知り大切にしようとする心”を育む</li> <li>● インクルーシブな保育</li> <li>● 保育指針の改定に伴いカリキュラムや記録を検討し、より実践に活かせるように見直していく。</li> </ul>
職員処遇	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 処遇改善Ⅱに必要な[キャリアアップ研修]に長期的な計画を立て積極的に参加してもらうよう取り組み、職歴に応じた資格取得を目指す。また、研修報告を通して職員間で知識の共有を図り、意見交流をする中で保育の質の向上に繋げていく。</li> <li>● 業務短縮でシステムを導入したが、未だ実践できていない部分があるので構築していく。</li> <li>● 早勤務・遅勤務に子育て支援員を導入し、職員の残業軽減につなげていく。</li> <li>● 有給休暇の取得は引き続き 100%取得を目指していく。</li> </ul>
地域貢献	<ul style="list-style-type: none"> <li>● スマイルサポーターが常駐しているため、地域の方の相談窓口として努めていく。</li> <li>● 0歳児親子【びよびよサークル】1歳児親子【あひるサークル】や園庭解放を引き続き開催する。</li> <li>● 地域の方をご招待して【地域給食サロン】を月に一回開催する。</li> <li>● 年長児が高齢者の会の【まほろば会】【敬老の日】に参加し世代間交流を行う。</li> <li>● 赤ちゃんの駅（園庭解放・オムツ交換、授乳室の提供）</li> <li>● 保育実習生・ボランティアの積極的な受け入れ。</li> </ul>

#### 3. その他特記事項

## 【のぼたけ保育園】

### 1. 本年度重点的に取り組む目標・計画

- 「幼児期までに育ってほしい姿」(10の姿)を中心に、それらが総合的な活動としての遊びや生活の中で活かされるよう、保育環境の見直しや保育計画および書式の見直しと充実に取り組む。
- 職務リーダーの意識向上により、園全体の質の向上に努める。
- 他園交流を深める。(幼稚園・保育園・小学校)

### 2. 目標・計画の具体的な項目と取り組み方法

項目	取組方法
保育内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 乳児期・幼児期の子どもの成長過程の理解と取り組みの共有を図る。(経験年数やその年の担当の思いで左右されることのない保育の基盤づくりをする)</li> <li>● 園内外の研修により、職員の意識や質の向上を高めていくようにする。</li> <li>● 支援保育の見直し。(個々の発達や課題を理解した上で、定期的な会議を設けたり、専門機関の助言や学びを深める)</li> <li>● 小学校への段差のない移行の一環として、他園や小学校体験などでつながりをもって子どもたちにつけたい力を育てていく。</li> </ul>
職員処遇	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 処遇改善Ⅱに必要案件とされている『キャリアアップ研修』に担当保育士を派遣すると同時に、勤務体制で残された保育士に負担が増えないように、長期的な研修計画を立て職員負担を極力減らした上で研修参加・資格取得に取り組んでいく。</li> <li>● 全国的に保育士不足が深刻化する中で、職員との面談を図り相談や現場の意見の吸い上げを積極的に行うことで、在籍する職員が長く続けていけるようなより良い環境づくりに取り組む。</li> <li>● 職員間で連携・協力体制をとり、クラスミーティングの時間を確保する。</li> </ul>
地域貢献	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 月1回「こっこ・ぴよぴよサークル」を行い、地域の0～1歳児の親子に遊びを提供したり、発育測定や育児相談を行う。また、夏のプール開放や焼き芋大会や餅つき大会などの園行事に参加してもらう。</li> <li>● 地域(野畑校区)子育てサークルこんぺいとうに場の提供を行ったり、出前保育であそびの提供や育児相談を行う。</li> <li>● 園庭開放(月～金曜日 10:00～11:30)</li> <li>● 異世代交流 地域の高齢者施設(メルシー)訪問及び招待。</li> <li>● 赤ちゃんの駅(園庭解放・オムツ交換、授乳室の提供)</li> <li>● 野畑図書館駐車場提供(日曜日)</li> <li>● 保育実習生・ボランティアの積極的な受け入れ。</li> </ul>

### 3. その他特記事項

## 【のぼたけマミー保育園】

### 1. 本年度重点的に取り組む目標・計画

- 子どもが主体的に活動できる保育を提供する。
  - ・園内外の研修により、職員の意識改革を図り全職員が同じ意識をもって主体的に行動し、園児の模範となり、一人ひとりに応じた育ちを支える。
- 保育計画・計画様式の見直し。
  - ・個々の育ちに応じた保育を提供するための、計画の立て方・書類の様式などを見直し、充実させる。
  - ・保育課程を共有し保育に生かす。

### 2. 目標・計画の具体的な項目と取り組み方法

項目	取組方法
保育内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 受容的・応答的な関わりの中で大人との愛着感情を育てる。            ☆ クラスミーティング等により個々の育ちを共有し自己主張や探索への配慮、意欲の育成に努める。</li> <li>● 身の周りにはいろいろなものがあることを知り、好奇心や探究心をもって関わる意欲を育てる。            ☆ 様々な環境を用意し、子どもの様子によっては見守ったり支援したり、共に感動したりしながら考える力や意欲の育ちを応援する。</li> <li>● 運動遊びを楽しみながら体幹を鍛え安定したからだの基礎をつくる            ☆ 豊中スポーツ振興財団の助言の下、楽しみながら基礎体力が身につくよう環境を整える</li> </ul>
職員処遇	<ul style="list-style-type: none"> <li>● キャリアアップ研修等に積極的に参加すると共に園内でも学習会、意見交流を通して学びの場を増やし、同僚性を高め、保育の質の向上を図る。</li> <li>● 有給休暇の取得率を高め、健康維持・メンタルケアに努めることで保育へのモチベーションを上げ、より良い保育へと繋げる</li> <li>● 事務作業時間の確保。</li> </ul>
地域貢献	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 月1回「みんなであそぼ」で地域の0～2歳児と交流する</li> <li>● スマイルサポーターによる育児相談を行う。</li> <li>● 絵本貸出</li> <li>● 赤ちゃんの駅（オムツ交換・授乳場所の提供）</li> <li>● 異世代交流 地域の高齢者施設訪問及び招待。</li> <li>● 高校生のための保育の職業体験事業受け入れ</li> </ul>

### 3. その他特記事項